北九州市ため池ハザードマップ（小倉南区）

おおいけ 大池

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、大池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示してます。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- 予定避難所
  災害の危険から一時的に逃れるための場所
  なお、浸水する予定避難所は、使用できません。
- 到達時間
- ため池
- 土石流特別警戒区域
- 急傾斜地特別警戒区域
- 河川
- 地すべり区域
- 土石流警戒区域
- 急傾斜地警戒区域

浸水の深さ

1:7,000

0 100 200 300 400 m

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 4JHs 538」

作成／令和4年12月　北九州市農林水産部農林課

【ため池諸元】大池	
堤　高	5.3m
堤 頂 長	85.0m
総貯水量	151,200m³

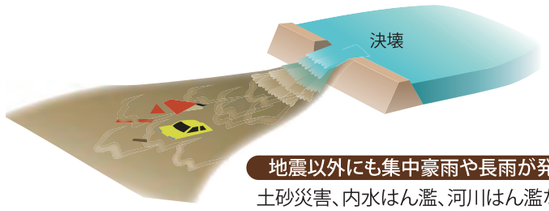
田原小学校
文化記念公園
文化記念体育施設管理事務所
決壊後60分
決壊後30分
決壊後15分
決壊後10分
決壊後5分
竹馬川
清水池
浸水想定区域
大池
貫小学校
貫市民センター
清水池
下長野公民館
竹馬川
浸水想定区域
九州自動車道
小倉東IC
10
51

※このハザードマップは作成途中の原案です。

北九州市ため池ハザードマップ【小倉南区】

おおいけ
大池

この「ため池ハザードマップ」は、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



地震以外にも集中豪雨や長雨が発生したら…

土砂災害、内水はん濫、河川はん濫などの災害が発生する可能性があります。
様々な災害状況を想定して避難を考えましょう。

≫ いざというときの緊急連絡先

消防	火事・救助・救急	119（局番なし）
警察	事件・事故の通報	110（局番なし）
北九州市 小倉南区役所		093-951-4111
小倉南消防署		093-951-0119
小倉南警察署		093-923-0110
九州電力 小倉営業所		0120-986-101
北九州市上下水道局		093-582-3031
NTT西日本	故障受付	113（局番なし）
災害用伝言ダイヤル	パソコン・スマートフォン 携帯電話からは	171（局番なし） https://www.web171.jp

≫ インターネットによる最新情報の入手先

北九州市役所
http://kitakyushu.bosai.info/input2/index.html
○防災情報
○緊急情報など

福岡県防災情報ホームページ
https://www.bousai.pref.fukuoka.jp
○緊急災害情報
○被害情報
○県内の雨量・水位など

気象庁（福岡管区気象台）
https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/
○天気予報
○気象警報・注意報
○降水ナウキャストなど

●地震・豪雨によるため池決壊のメカニズム

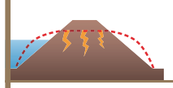
もし、ため池が決壊したら…

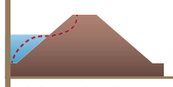
・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
・建物や車は押し流されます。
・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

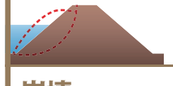
地震によるため池の被災メカニズム

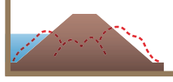
クラック

●堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。
●堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。

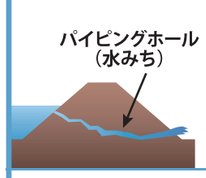
沈下

●堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
●多くは、軟らかい地盤で発生しています。

斜面崩壊

●堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。

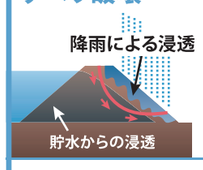
斜面すべり

●地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。

崩壊

●堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
●決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

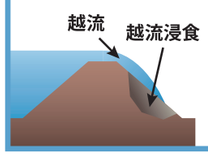
豪雨によるため池の被災メカニズム

浸透破壊


●堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
●また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。

すべり破壊


●貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。

越流破壊


●豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流化することによって、破壊する場合があります。
●また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

作成／令和４年12月　北九州市農林水産部農林課

●状況に応じた避難をしよう

≫ ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】
●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

【浸水の深さ】【判断】【どこへ】【どうやって】

3m 以上の浸水
●2階以上が浸水
●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある
→ 必ず
→ **浸水しない場所**（避難場所、道路、空き地、高台など）
●安全な場所へ避難する
●立退き避難（水平避難）
【どうやって】
●歩きやすい服装
●徒歩で避難
●お年寄りなどの避難に協力を
●事前に避難先を話し合う

0.5～3m 未満の浸水
●床上浸水
●1階以上が浸水
●強い水流の中を歩くことは危険
→ 時間と安全な避難経路が確保されていれば
→ **自宅の2階 危険のない近くの高い建物**
●自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
●垂直避難
【どうやって】
●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる
●近所のお年寄りもご一緒に

0.5m 未満の浸水
●床下浸水
●大人のひざ下程度
●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険
→ 少なくとも 必ず
→ **自宅にとどまる**
●むやみな移動はかえって危険
●屋内安全確保

●こんなときは避難しましょう
・大規模な地震が発生したら（2～3日後までは警戒が必要）
・集中豪雨、長雨のとき
・避難指示が発令されたら

●「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発生された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。
但し、土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので、避難開始の参考としてください。

北九州市 → 避難情報
●防災行政無線（スピーカー）
●防災情報メール
●エリアメール
●広報車　●消防団
→ 住民のみなさん

報道機関等
●テレビ　●ラジオ　●インターネット
→ 住民のみなさん

危険度 高

警戒レベル 5
既に **災害が発生または切迫** している状況です。**命の危険、直ちに安全確保** を。

警戒レベル 4（全員が速やかに避難）
危険な場所から避難先へ避難を完了してください。
緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、
近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル 3（高齢者など避難）
避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル 2
ハザードマップで避難行動を確認しましょう。

警戒レベル 1
災害への心構えを高めましょう。

危険度 低

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険と感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。
※逃げ遅れによる被災が多くなっています。